



次 皆既日食(部分日食)観覧会 in 住民センター 見るときはどんな大人になってるかな?

“太陽が欠けていきよー!” 7月22日の午前中、今年一番の天体ショー「皆既日食(※福岡では部分日食)」が桂川町でも観覧できました。11時頃、太陽の欠けが最大になり、あたりが薄暗くなると、住民センターに集まった子どもたちからは、驚きの歓声があがりました。次に日本で「皆既日食」が見られるのは26年後。中には「次は自分の子どもと一緒に」と、はにかむ子も。夏休みの貴重な思い出になりました。

September 2009

町の交差点

地域のニュースは総務課
(☎65・1082)まで



子 公園の草刈りボランティア 子どもたちが安心して遊べるように...

「近くの公園の草を、ボランティアで刈ってくれている人がいるのですが…」との住民の方からの電話をもらい土師二区の公園に駆けつけると、うだるような暑さの中、刈った草を片付ける人たちが。近所で電気工を営む藤嶋泰則さんが「最近、子どもの声が聞こえんなあーと思ったら、草が伸びてたもので。」と汗だくになりながらニコリ笑顔で話されていました。ありがとうございました。



▲5月8日の苗植え
▼8月20日のゴーヤ

ゴ 農業クラブプロジェクト班 始動! ゴーヤでECOなスクールライフ

今年度エアコンが設置され、より良い学習環境が整った嘉穂総合高校。一方で、生徒・保護者からは、ECOが謳われる昨今において、これでいいのかと言う声も。そこで、保護者会・生徒自らが“ECOは考えるのではなく、実行するもの!”と始めたのが、ゴーヤでECOプロジェクト。成長が早く、広範囲に葉を繁らすゴーヤのカーテンが、この夏のスクールライフをクールにしています。



明 僕たち・私たち一生懸命農業を学んでいます 日の農業を支える若い力よ芽吹け!

蒸し暑い日が続いた7月下旬、土師で農業を営む高嶋征敏さんのビニールハウスで、滴る汗をタオルで拭いながら黙々と仕事に励む若者の姿を見つけました。彼らは、嘉穂総合高校の2年生5人で、一週間毎日、朝から夕方まで農業実習に来ているとのことでした。学生に“仕事に楽はない!”でも“頑張れ後輩!”とばかりに、農業の楽しさについて語る高嶋さんの優しい笑顔が印象的でした。



キ 寿命区子ども会・嘉穂総合高校合同 キャンパスは、でっかいスベリ台

今年の春先に、地元寿命区の人たちがきれいに色を塗りなおした寿命公園のスベリ台。7月27日～28日、このスベリ台に、寿命区の子もたちと嘉穂総合高校の美術同好会とイラスト研究部の生徒が合同で、色とりどりのドーナツを基調にした絵を描きました。こんな大きなものに絵を描くのは誰もが初めて。貴重な体験とともに、さらに明るく立派なスベリ台になりました。